

令和五年度 公益財団法人納税協会連合会会長賞

税について

川上中学校 三年 脇田 詩菜

私は、ネット社会を生きていて、いつでもどこでも、自由に、多様な情報や欲しい知識を入手できます。

例えば、この「税についての作文」を書くにあたり、「税」と検索すると様々な情報を収集できるのです。けれど、そのような情報の中には信ぴょう性のないものも多く、税に対してマイナスな発信も少なくはありません。知識が不確かな私たちは、簡単にそのような情報に左右されてしまうこともあると感じます。

私は毎年、学校で租税教室を開催してもらっていて、税金のなくなった社会でおこる不自由や不平等、不幸な世界を教わり、そんな未来にはいけないという気持ちが強く心にあります。どうして納税するのか、その税はどのように使われ、どのように私たちの生活にいかされているのかに関心を持つことが大切だということを講師の先生方に教わったことで、生活の中に「税」を感じることも確実に増えています。

今年は日本中で雨がたくさん降り、各地で多くの被害が出ているニュースをよく目にします。私の住む吉野郡でも六月の初めにものすごく雨が降り、土砂崩れがあちこちで発生しました。大変な思いをした人も多く、何より道をふさいだ土砂のため不便な日々が長く続く地域もありました。けれど、日をおうごとに以前のように安全に通れる道路に戻っていくその中に、私は税金が支える社会を強く実感することができました。

日本は沢山の問題を抱える国です。少子高齢化にともなう医療費の増加、異常気象による災害や被害、老朽化したインフラ、国を守る防衛費の強化など、どれも税金に関わる重要な問題です。増税を反対する人、税金が高すぎると怒る人、使われ方への不満。沢山の情報の中から、何が正しいのか、常に税金に関心と興味をもつことで多様な情報に左右されることなく正しく納税することのできる大人になりたいと思います。

「税とは社会の会費」という例を目にしたことがあります。そのように税を捉えると、その仕組みが知りたいと思うし、知ることで意識が高まり、理解も深まると思います。

当たり前の中の毎日の中に、どれだけの税に関わり、手助けを受けているのか、私の支払った消費税もどこかで役に立っているのかな。そんな風に思うと、レシートの消費税を目にするたび、私も社会の一員として役に立っているんだなと誇らしい気持ちになります。